

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

所在	
園名	

1. 活動のテーマ

<テーマ>

光と影 ～ 身近に光と影を見つける ～

<テーマの設定理由>

興味・関心：光と影に関する興味関心、園の特色として、身近にある（園内、園庭）にて探検活動を行い、光と影を見つけたり、違いを気づかせる。
 園の特色：園庭があり、園内も広い。

2. 活動スケジュール

ワスターマ「みいつけに」

- 6月16日(月) 9:30- ワスターマに基づいて○△□を見つけたい、園内探検を行う。
 床にできていて光と窓枠の影が「四角」ということと子どもが気づき、光と影についての話をする。
- 10:25- 月1回の専門講師を招き園庭で自然物を用いて光と影を探す。
- 6月18日(水) 15:25- 月1回の専門講師を招き、園内で光と影を探すために、園内探検を行う。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)

環境：日々生活している環境の中で光と影を見つけ、より興味を持てるよう、園庭、園内での活動を行う。専門講師にえる戶外活動の中で影をみつける活動と併せて
 準備物：星型ミラー

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

所在	
園名	滝のせせらぎ保育園

1. 活動のテーマ

<テーマ>

光と影 ～ 光と影のつくりかた ～ ～ 光を知る ～

<テーマの設定理由>

興味・関心： 1ヶ月、園庭で自分の影を見つけ、そこから自然に何と何の影を見つけたか、園内探索をし、窓枠の光と影や廊下の影を見つけたこと、そのために、今度は光の色や影の大きさの違いに気づいていくようにする。この活動の「おもしろいところ」は、最近では色の影の影を自分の影と混ぜ合わせ、新しい色を見ることが出来ること、色の興味・関心が強い。

2. 活動スケジュール

7月テーマ「おもしろい」

- 7月16日(水) 15:25 - 月1回の専門講師を招き、園内にある電気の色の違いを見つけにいく。園内探索を行う。
- 7月23日(水) 9:45 - 水遊びの活動内で、カラーセロハンで製作した影を水に浮かべ、カラーセロハンが水に反射する様子やカラーセロハンが光に当たった時の色の変化に気づく活動を行う。
- 7月28日(月) 10:25 - 月1回の専門講師を招き、楽器とライトを使い、楽器の影絵合奏を行う。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

環境：園内の電気（カラーポイ袋を紐せ、色とりどりの電気（光）を用意しておく。

準備物：カラーポイ袋、カラーセロハン、小電卓電灯、楽器、インターシャ、スクリーン

環境：専門講師による、園内探索や影絵合奏を実施して。

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

1. 本探求：園内探求に行き、電気の色の違いに気がつく。カラーポリ袋が利用している電気は光の色が変わるという、2つの色の光が重なり合うと違う色の光（マゼンタ）が見える。その後、遊戯室に帰り、用意していた小電中電灯の前に子どもが並び、壁に自分の影が映る（マゼンタ）が保育者が小電中電灯の角度を変え、自分の影が伸びたり縮んだりする影遊びに挑戦した。

2. クラス：クラスターの「まわけた」に基づき、カラーポリ袋を重ね合わせ、新しい色を見出しおぼろげの製作でクラウの光の色と水に浮かべた光の色を比較し、（本探求のすくわと同じように）光の色の重なりや変化に気がつく活動を行った。

3. 音楽：本探求で自分の影が伸びたり縮んだりする影遊びのため、楽器の影当りクイズを行う。ポイントとして「エコー、子ども達からは影のみが見えるようにする。色は角度から楽器を映した、子ども達に自分で考えさせる」と言う。

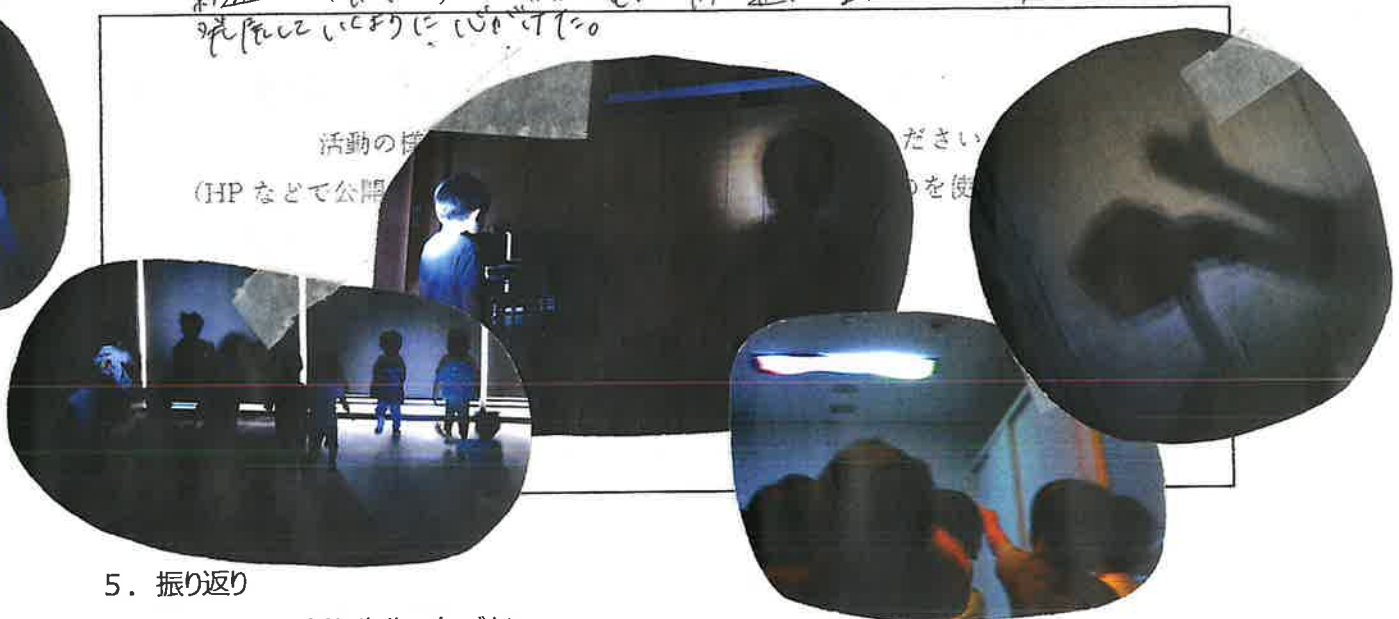
<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

内容：本探求では、園内探求で色のは色の電気を探しているところから光の色の違いに気がつくため、クラス活動の前には遊びで、カラーポリ袋の製作で色を使い光と色の活動を行うという。また、本探求で小電中電灯を使用した影遊びが始まった。そのため、音楽では楽器の影当りクイズを行うことになった。

声：電気の色の違いに気がつく、2色の光（赤と青）が重なり合うと「紫に見える」と変化に気がつく。また、影遊びでは、小電中電灯に近づいたり遠ざかることで、自分の影の大きさが変わるというように自分の影が伸びたり縮んだりする影遊びを楽しんでいた。

関わり：保育者は、電気にカラーポリ袋を使い環境を作った上で、その光を見て光の色の変化は

子どもが気がつく（紫に見える）と話し、自分の影に気がつくように関わり、影遊びでは、偶然子どもが小電中電灯の前を通り、壁に映る影に気がつくため、その影が光の影に似ているように見えた。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

今回の活動では、前回の活動で光と影を見つけた子ども達に「より興味を深めていくようにしてカラーポリ袋を使って色々とした色の光を作ったり、光を重ね合わせたりする」と子ども達に「自分の光の変化に気がつく」ということが出来た。また、小電中電灯で光と影を合わせると青や赤の光が混ざると「紫に見える」と、偶然子どもが小電中電灯の前を通り、壁に映る自分の影を見つけた。影遊びに挑戦したことで、子ども達も自分の影の大きさ、小さいに気がつくという変化が見られたため、音楽でも楽器の影当りクイズも行うことが出来た。

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

所在	
園名	港区立下かほま保育園

1. 活動のテーマ

<テーマ>

光と影 ～ 光を知る ～ ～ 影を探し～

<テーマの設定理由>

興味/先月の活動も影の活動は、園の特徴など気がつきました。いつまでもくっついていたり、
疑問/疑問をもつ姿が見られました。

2. 活動スケジュール

クラステーマ「あつぽん」

8月6日(水)15:25 - 月1回の専門講師を招き、スクリーンの前で自分の影と
かたこをする。

8月22日(金)10:25 - 月1回の専門講師を招き、先月つかったカラーセロハン、魚を
用いて、スクリーンの後ろから重ねかけ、光が当たったときの
様子や、光の色が変化していった時の色の違いに気づけるような
活動を行う。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)

環境: スクリーンを用意しておく。光の色の変化が分かるようスクリーンの後から光を当て、途中から
カラーセロハンも被せる

準備物: 先月作ったカラーセロハンの魚、青のカラーセロハン、木製中電火灯、スクリーン、白い布

環境: 専門講師に呼び、影の活動や光の影の活動を実施した。

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

所在	日本保育サービス
園名	港区立こいしほ保育園

1. 活動のテーマ

<テーマ>

光と影 ～ 影の動きを捉えよう

<テーマの設定理由>

(リトミックや運動遊びなども普段の活動で動物物まわしを行っている。また、以前のすくわくでは、立つ、走らばこの活動を行っていたため、動物の動きでの光と影を見て、新しい発見や面白い発見もあせり。

2. 活動スケジュール

9月10日(水)

月1回の専門講師を招く。

スクリーンにライトの光を当て、自分たちで決めて動物のまわり、影の動きを見る。
左右遠近にそれぞれ動かし、自分の影の動きを見て違いに気づき、光と影の仕組みを知る。

9月29日(月)

月1回の専門講師を招く。

自帯のうしろのライトの光を当て、紙カードにあらかじめ動物の動きを貼る。見ると影の動きを見て何の動物のまわりかを当ててみる。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)

ライト、白布、動物カード、POP

会場：専門講師による影のまわりで動物のまわりを完成させた。

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

【たこやう】 スコップに光を当て、動物の影を写し、影の前と木質の2方向から見ると、影の大きさや、始まる位置の違いに気が、光と人の位置(左右、遠近)での違いを意味した。

【おんがく】 5人(グループごと)に、絵カードを見て幕の裏から動物の影を写し、スコップの位置(2台合わせて動物の動きを影で写す)で、他の見ている子供が、何の動物の影か当ててみる。スコップの位置(2台合わせて動物の動きを影で写す)で、自分の影を見ながら、自由に動かす。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

【たこやう】 動物の影を写す前に、影の位置と動物の位置を確かめ、影が右から写り、左から写り、影の位置に気が、「それは何?」と不思議がる。言葉にしていくため、(人が前に出ると影は左、遠くからだと、左右に動いていく)と試してみると、影は光の位置に気が、「影はこっちからくる」と気が、声に出して話さる。

【おんがく】 スコップの位置(2台合わせて動物の影を写す)中、他の見ている子供は自分の影を写し、「これは何?」と不思議がる。言葉にしていくため、「○○は、○○はね」と話しながら、影に気が当てると、影の位置が写り、影の位置が写る。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先...>

動物の動きを写すことで、子供たちは不思議な発見や不思議さがあり、そこから言語が展開していく。光と影の性質を詳しく知ることが、左右遠近(2台)を全て理解することは難しいが、子供が不思議だと思ったことを、言葉で話さなくてもいいから、事前に94の109-2の気がを考えたとき、スコップの位置を話しておく。

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

所在	株式会社 日本保育サービス
園名	港区立たかほま保育園

1. 活動のテーマ

<テーマ>

光と影のつくりかたは？

<テーマの設定理由>

体験：体を自由に動かして影の動きを楽しみ、影絵の仕組みを通じて光と影の興味と不思議さを感じさせる。
 音楽：カーセロハンで作ったトビの羽を背景につけて、光の反射と透け方の変化を感じながら、トビの「トビ」を
 作る。光の当たり位置や動きによって影の色の見え方が変わっていく。光と影の美しさを感じさせる
 全体で歌を取り入れる。

2. 活動スケジュール

- (0月8日 (水)) 15:25 - 月1回の専門講師を招き、積木(動物型)を使い、光を当ててできた影の形を見ながら影絵の仕組みを説明し、自由な動物の影を作ります。1本の光で動物の影を作ります。
- (0月27日 (月)) 10:25 - 月1回の専門講師を招き、カーセロハンで作ったトビの羽を背景につけて、トビの「トビ」を作り、光を当て、羽の色や反射光でかわる様子を感じさせる。影絵の仕組みを説明し、歌を歌います。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

環境：室内を暗くし、光の当たる壁やスクリーンを用意し、影の映りやすいようにする。
 準備物：懐中電灯、ライト、カーセロハン、動物型の積木、カーセロハン、トビの羽型の画用紙、
 ジュニア、。

環境：専門講師による影絵の仕組みでカーセロハンでの果物の影絵を実行する。

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

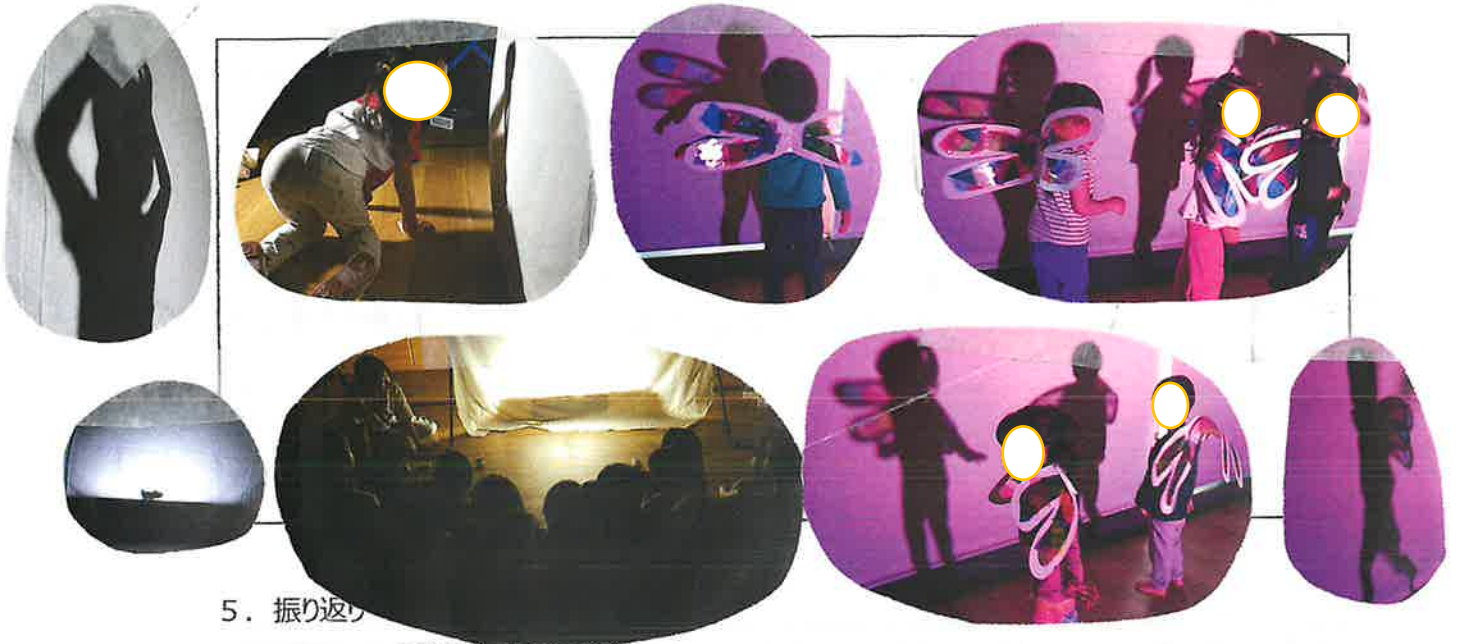
手順: 部屋を暗くし、ライトをスクリーンに当て動物型の積木下の影を映し出す。映し出された影を見て動物の当てる影絵のイラストを行った。その後、子ども達が自分で動物の影を自作し、再び影絵のイラストを行った。

音楽: カラオケで作られたトンボの羽を音中につけ、リトミック「トンボ」を行った。音楽に合わせて走り回り、止まり、光の当たり方によって反射の様子を観察し、「トンボ」の動きを止まり場面。光に照らされている羽の色が影の裏側の方を見比べてみる。光と影の違いを確認した。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

声: (手順) 影の形が少し変わると「今度は違うのよ、小さくなったよ」といって、光の向きや距離によって影の大きさが変わることに気がついて見せた。(音楽) カラオケのトンボの羽が光に当たると羽の色が違って見たり、反射している様子に気がついて「光が当たると」と嬉しそうに体を動かしていた。

関わり: (手順) 子ども達が影の大きさの変化に気がつく際に、「どうして小さくなったの？」、「光の強さで変わるの？」と声をかけ、変化の原因が光の強さによって自分の体を使って動物の形を表現してあげ、映し出された影の形を工夫して工夫して見たり、自分から光の当たり方によって影の動きや影の大きさを確認の様子があった。映し出されたトンボの羽と一緒に観察し、「カラオケで歌った曲はどんな曲なの？」と質問したり、自分の影の色は気をつけている様子が見られた。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

今回の活動を通して、子ども達が「見え方の変化」に強く興味・関心を示し、自ら光を動かして影の形を比べてみることで発見し、変化の理由も自分なりに考え、自分なりに気づきや疑問をもち、探究する力の育ちを感じた。

音楽では、音楽に合わせて動く、止まるを繰り返す中で子ども達が「重さ」と「光の変化」を感じるようになってきた。日常のリトミックに「光」という要素を加えることで、子ども達の関心が高まり、自分なりに気づきや疑問を感じた。その後、屋外や自然光の中で光と影の遊びを取り入れ、時間や光の角度の変化による影の違いなど、より身近な環境との関わりを深めていくようにしていきたい。

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

所在	株式会社日本保育サービス
園名	港正立 1 からけ子保育園

1. 活動のテーマ

<テーマ>

光と影の、く/エムにろう? ②

<テーマの設定理由>

「動き」と「光の変化」を結びつけて、自ら動かして影の変化を楽しむ事が前回見られた。
また、羽を背中につけて、光が透ける様子を楽しみ、好奇心を向けていた。

2. 活動スケジュール

- 11月10日(月) 0:25 - 前回の専門講師を招き、前回カラーセロハンでつくったトンボの羽がスクリーンにうつることを楽しんでいて、羽とトンボと鳥の2種類にして、トンボの軽快なXロティーと鳥の優雅なXロティーを聞き分けて、曲に合わせて自由に表現する活動を行った。
- 11月13日(木) 15:25 - 前回の専門講師を招き、音楽同様トンボと鳥の羽を用いて、優雅なXロティーに合わせて、自由に表現を繰り返す。曲が止まると羽を動かすのを止めたことで、音とよく聴いて動く活動を行った。
- 11月27日(木) - クラスの活動において、トイレトポーパーの芯に、魚のシルエットとカラーセロハンをつけて、ライトで照らし、魚の影を探る活動を行った。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

専門講師による音楽と影を組み合わせる活動の実施のため

環境 = 室内を暗くし、スクリーンと光が強くなるライトを3つスクリーンに向けて用意しておく

準備物 = 画用紙とカラーセロハン、OPPテープを使って作ったトンボと鳥の羽、スクリーン、スクリーンに映る用のうけ、人数分の懐中電灯、トイレトポーパーの芯、魚のシルエット、カラーポリ袋、カラーセロハン

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

おんがく：カラセロハンでつくったトンボもしくは鳥の羽を背中につけて、ピアノの音に合わせて走ったり止まったりして遊ぶ。カラセロハンを通して色がスクリーンに映る様子や、動くことによる景色の変化を楽しむ。

ダンス：おんがく同様、トンボもしくは鳥の羽をつけて、ピアノの音に合わせて自由に表現をしよう。ピアノの「トンボ」のXロディーや、優雅な曲調の違いを感じ、身体を使って表現することを楽しむ。

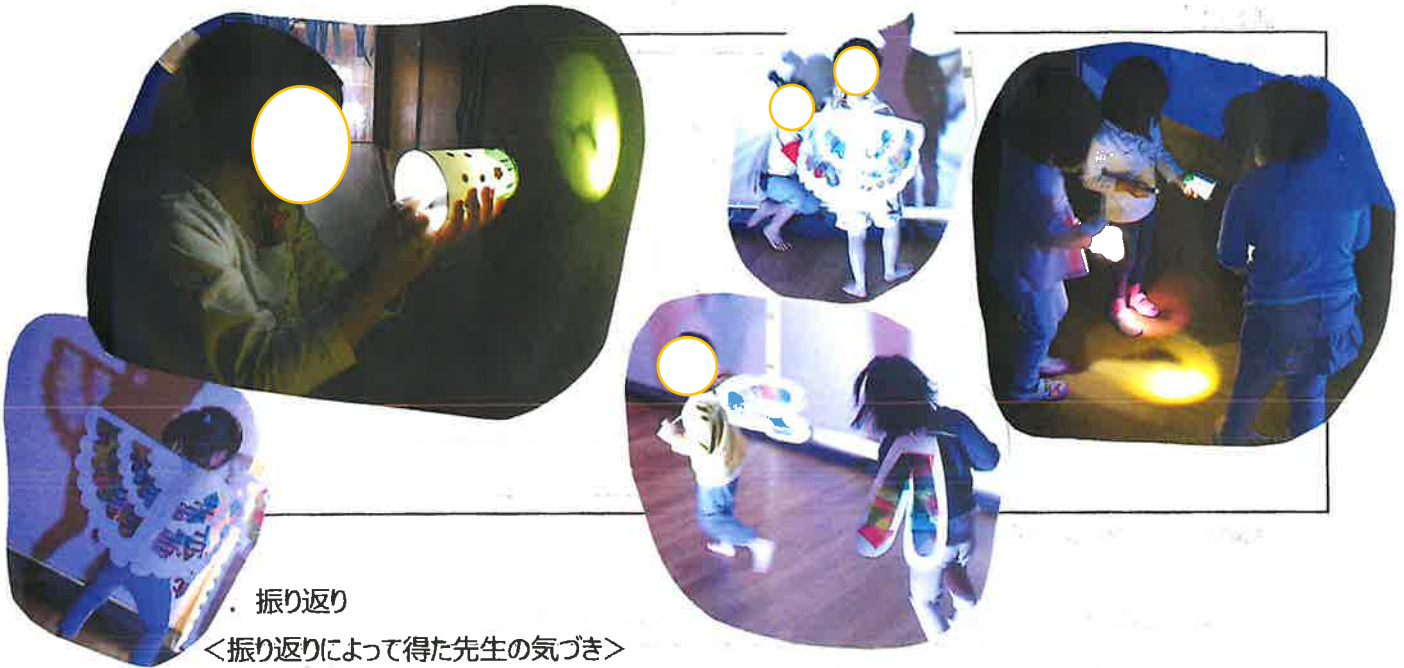
ワラス：トイレットペーパーの芯でつくったライトを持って、遊戯室にて魚探しと行方。壁や天井、床など様々な場所へライトを向け、景色を出現させて楽しむ。動かすことを楽しむ。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

子どもの姿：ライトに近づくとき景色が大きく、離れると小さく/よることに気がつき、「わあ、大きく/よった」「消えちゃった」と歓声やあけが声があった。また、ライトの後ろや横に立つと景色が見えなく/よることに気がつき、「見えないうわ」「光が/よから/よ」と興味を示している。

ワラスの活動では、ライトで動かすと、景色も動くことに気がつき、景色を踏まふ/よい/よりに「後ろに/よる」、景色を追いかけ、こもして楽しむ姿が見られた。

関わり：羽をつけて動く時は、スクリーンに何も映らない子どもに「あ、と」など、動いたから映ると思おうと子どもたちに聞いてみる。ライトの前から後ろに移動すると、だんだんと景色が大きく/よる、いき景色が消えることを見て、景色が/よる仕組みを知り、気がつきが深まるよう促している。



・ 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

今回の活動を通して、近づくことで大きく/よる、離れることで小さく/よる、景色が大きく/よる、景色が小さく/よる、景色が消えること、景色が/よる仕組みを知り、気がつきが深まるよう促している。

今回の活動を通して、近づくことで大きく/よる、離れることで小さく/よる、景色が大きく/よる、景色が小さく/よる、景色が消えること、景色が/よる仕組みを知り、気がつきが深まるよう促している。

遊びの中で繰り返して行うことで、深い理解に繋がると感じている。

影を使って、追いかける、こもして楽しむ姿が見られた。園庭でかいて遊ぶように、あそびに/よる。日常が影を使ってあそびが活動もしたい。

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

所在	株式会社 日本保育サービス
園名	港区立「こはな」保育園

1. 活動のテーマ

<テーマ>

光と影の不思議

<テーマの設定理由>

光の影を（時間）通して取り組むことで、影の仕組みとして、音楽や体操を通じて、光と影の変化に気づきながら表現する楽しさを味わう。

2. 活動スケジュール

- 1月19日（月）10:25 - 11:00
月1日の専門講師を招き、カーセロハンで作った「影」の羽やちりめちりの羽を身につけて、表現発表を行う。また、紙皿の中央に穴をあけ、カーセロハンを用いてその穴を通してライトを当ててみる。音楽に合わせてカーセロハンで影を表現する。
- 2月4日（水）15:25 - 16:00
月10日の専門講師を招き、金矢棒でカーセロハンを使用し、運動して影が動く様子や影の表現を行う。また、半分に割った紙皿で影を表現し、その影の動きを観察し、影の動きを表現する。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

専門講師による光と影の不思議の活動を実施する。
 環境：室内を暗くしてライトを使用する。
 準備物：懐中電灯、ライト、カーセロハン、紙皿、ちりめちり、紙皿、糸、紙皿。

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

音楽：カーゴハンとトロボの羽を身につけ音楽に合わせて表現
 光の影に目を向けて、走ったり、歩いたり、止まったりしながら、思い思いに
 体を動かして表現する海が、あつちのまじり四の中央に穴をあけカーゴハンとトロボ
 を用いてライトを当てて音楽に合わせて光の影の動きを楽しんだ。
 体操：金棒やカーゴハンを使用し、体を動かしてあつちのまじり四の影を自由に表現
 表現を楽しんだ。おれおれおれ、友だちが表現している影を見て何を思っているかを
 当てる、影の動きを真似て歩いた。音楽が流れる中で、体の動きは、影の動きが、あつちのまじり
 四の影を表現している。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり> 気がとまらぬ見せかたで

音楽：音楽に合わせて走ったり、歩いたり、止まったりしながら、自由に表現する海が見せかたで、あつちのまじり
 四の影を表現している。あつちのまじり四の影を表現している。あつちのまじり四の影を表現している。
 「影が大きい」「音のライトが当たって楽しかった」と、あつちのまじり四の影を表現している。あつちのまじり四の影を表現している。
 体操：体を動かす中で、影の動きもあつちのまじり四の影を表現している。あつちのまじり四の影を表現している。あつちのまじり四の影を表現している。
 金棒を使ってトロボが木の上で表現したり、カーゴハンで表現したり、あつちのまじり四の影を表現している。あつちのまじり四の影を表現している。
 影を見て「あつちのまじり四の影を表現している」と保育者が言うと、あつちのまじり四の影を表現している。あつちのまじり四の影を表現している。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

初めは影に興味を示す子供が少なかったが、カーゴハンを使用して光を取り入れることで、
 光の影に目を向けるようになった。あつちのまじり四の影を表現している。あつちのまじり四の影を表現している。
 自由に表現する海が見せかたで、あつちのまじり四の影を表現している。あつちのまじり四の影を表現している。
 友だちの表現を影で見せかたで、あつちのまじり四の影を表現している。あつちのまじり四の影を表現している。
 音楽で表現の通して、あつちのまじり四の影を表現している。あつちのまじり四の影を表現している。
 影を見て「あつちのまじり四の影を表現している」と保育者が言うと、あつちのまじり四の影を表現している。あつちのまじり四の影を表現している。

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

所在	日本保健サービス
園名	港区立たのほまい保育園

1. 活動のテーマ

<テーマ>

光と影の不思議

<テーマの設定理由>

1年間 光の影で行ってきた、保健者主導で行っていたのを
子ども主導で行い、発想や気づきを子どもなりに可及

2. 活動スケジュール

3月11日(水)	15:20 - 15:50	1回目の専門講師を招き、カーゴを 積み重ね、ボールが落ちないように 行う。
3月16日	10:25 - 10:45	2回目の専門講師を招き、5つの果物を 使って果物タワーを行う。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

カーゴ、ボール、白布、7割あ、3割
あ、2割、1割のスタック、1割あ、1割あ、1割あ

環境: 専門講師による果物使用のボールや果物タワーを準備する。

4歳 6月

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

所在	
園名	港区立たかけま保育園

1. 活動のテーマ

<テーマ>

光と影：身近な光と影を見つける

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)
興味・関心：光と影について学んでいく中のはじめの活動として、身近である園内・園庭にて探索活動を行う。光と影を見つけることに興味をもち、自由に遊ぶ。
園の特色：園庭があり、園内も広い。

2. 活動スケジュール

7クステマ「自然科学」

6月13日金曜日：ソングの会の時間に、子どもたちに保育室内の電気を指しながら、光について話をした。子どもたちから電気の光や外から入ってくる光があるから部屋の中が明るくなる、と気付くがあり、次回は園外に出て光と影を探ることを導入として入れた。

6月16日月曜日：専門講師を招致し、園庭に出て光と影を探る。
おんぱく

6月18日水曜日：専門講師を招致し、園内にて光と影を探る。
たいとう
園内での探索後、子どもたちと発見した影について発表をしいし、影の大きさや色について疑問を話してしりて振り返りを行う。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)
環境：身近にある光と影を発見し、興味関心を持てるように、園庭・園内での活動を行う。

専門講師による光と影を探る活動を実施した。

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

〈おんか〉 園庭で光と影を探した。園庭に落ちている自然物と太陽の光にあてて、影が
できる様子を楽しんだり、園庭の玩具とれているカゴの影が周囲目状に出来ていることに
気付いたりする等があった。また、自分の影が自分が動かのとき常に動いていることに気付く等もあつた。
〈たいそう〉 園内で光と影を探した。園庭で見つけた影と違い、園内の様々な色や強さの光によつて
出来る影の大きさや濃さが変化していることに気付くように、絵本コーナーやラッシュパス、休室里等の部屋へ
行った。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

〈姿〉 園庭では、太陽光から作り出されている自然物や玩具、人の影や動きに気付く、「ここにかげが
あつたよ」「かげがいっしょにくっつくよ」や差し込んでくる太陽の光を見つ、「ここにひかりがあつてる」
「あかるいよ」と、友だちや保育者に、指をさして伝える等が見られた。

〈子どもの声・関わり〉 園内では、室内に入ってきている光に気付く、「守どのかげになつてね」と言う声があつた。また、電気の色
や床との近さによつて出来ている影の濃さや大きさが変わっていることに気付くように様々な部屋へ行つた。
「電気が近いと影はどうなっている?」や「電気を消した時とつけた時の影の色は違うかな?」と子どもに
疑問と投げかけた。子どもたちからは「でんぱらうかいとかげがあつたよ」「うさぎのうさぎ」と気付く等があつた。



2枚以上を貼付し
ますので、公開可能

5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

子どもたちが積極的に光と影を見つ、見つけた物を保育者や友だちと
共有し楽しむ等があった。園内を回った際には、園内だけでなく、外の景色
から影を見つる子どももいた。保育者は園外の影にまで目を向けおろが、
子どもたちが外にまで興味を広げ採集していることに気付いたため、保育者
が子どもの気付きをより広げられるよう関わっていったと感じた。

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

所在	
園名	三芳区立たかはま保育園

1. 活動のテーマ

<テーマ>

光と影ってなんだろう？

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)
 興味・関心: その当日の具合により影には形・濃さが違うことに気がつく。また影ほどのような影でも
 全て黒色だ、という不思議な事をも子どもたちが気づいていた。

2. 活動スケジュール

クラスター「自然科学」
 7月6日(水曜日): 専門講師を招致し懐中電灯でカーズに光を当てスクリーンに
 写し出すことで影にどのような変化があるかを見つける。
 7月28日(木曜日): キッズプログラム前の活動中宇宙空間について写真を見ながらイメージを
 感じたことを各々話しをして「宇宙はすぐと暗い光が当たってなにか
 黒いんだよ」と話す事があった。
 ・専門講師を招致し楽器に光を当て壁に影を写し出しどのような楽器
 なのかを当てて楽器クイズを行う。光が何物に当たる距離を変え影の
 大きさを確かし実物との違いを見つける。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)
 環境: 光と影がより鮮明に見えるように凹凸の無い場所で行う。
 準備した教材: スクリーン

準備した道具: 懐中電灯

専門講師による影を写し出し色の変化やシルエットを楽しむ活動を実施した。

4歳8月

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

所在	
園名	港区立たかはま保育園

1. 活動のテーマ

<テーマ>

光と影
・ 牛刀体に光を当てた際の影の色を知る。
・ 影の形に合った表現を楽しむ

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)
興味関心: 前回の活動の中で、色がついている牛刀の影には色が消滅のみに興味を持った。影の色や形と見て音と想像すると楽しむ事があった。

2. 活動スケジュール

7ヶ月テーマ「自然科学」

8月6日水曜日 たいそう: 専門講師を招致し、遊戯室にて、体操で使う道具を光に当て、影の色を想像し楽しんだ。自分の影と道具が重なると、自分の形が変化していることに気付く。次回は自分と道具を使って形を作り、てあるとにした。

8月22日金曜日 おんがく: 専門講師を招致し、遊戯室にて、うたや入ら等の動物のシルエットを貼した後、自分たちで影を動かして、ビップの音に合わせて表現する活動を行った。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)
環境: 遊戯室にて暗い環境を作り、光が自分の手や足にスローモーションで白い布を使用
準備物: ライト、カーペット、布

専門講師による、影を見て実物をイメージしたり影を動かして音に合わせて表現する活動を実施した。

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

<あひがく> 動物物の影と映し出し、動物物のシルエットに合わせて音楽を聞き表現する活動を行った。順番に子ども自ら自身で影と映し出ると、音楽に合わせて影と動物物に楽しむ姿が見られた。

<たいそう> 前回の活動で、カーペットに光を当てると色のついた影が出るとと矢張り、色のついた布巾(例:ポップ、跳び箱等)も影に色がつくのかという疑問から、普段使っている跳び箱やマットを光にあてて影がどうなるのかを調べた。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

<あひがくの活動> は、自分で動物物の影を動かして、ポップの音に合わせて表現することを楽しむ姿があった。たいそうでは、跳び箱や鉄棒に光を当てても影の色がでないことに「なんでだろ、色がつかないからかな」と疑問を持つ姿があった。

<子どもの声・関わり> 跳び箱や鉄棒では影に色がつくのか。ため、色がつかないからかなと尋ねると「いや、跳び箱や鉄棒はどうなるか尋ねると、「いろがつかない」と言う姿があった。実際影を映してみると影に色は出ず、布巾だけが影としてできあがった。子どもは「矢張りやあんなも色はあつとあんなは色のついた影がでる」と尋ねると「でない、「なんでかな」と言う姿があった。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

影の色に興味を持ち、子どもたち自ら「やってみよう」と言う姿が再び出てきた。子どもたちが光と影への関心を高めているという事に気がついた。キャストプログラムだけでなく、日々の活動の中でも光の反射や屈折、惑星と光の関係について話すと、関心をもちやすくなる。振り返りによって活動の内容を振り返られるようにしていった。

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

所在	
園名	港区立たかひま保育園

1. 活動のテーマ

<テーマ>

光と影 ～ 影の色や動きを楽しむ～

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)
光を当て影を写し出した時に色が写るものと写らないものを発見し色が写る影を探そうと子どもが見つけている。

2. 活動スケジュール

9月5日(金)、保育者がCDに光を当て反射した影に色がつくことを観察する。

9月10日(木)、フラックアポにマジックペンで色を描き、色あつきの影を写し出すために製作を行う。
専門講師を招致して、フラックアポに光を当て影の色や動きを観察したり動かして「影の動きを楽しむ」。

9月29日(木)専門講師を招致し影絵合を行ない、自分の影の動きを互が同じ目で見せ合い楽しむ活動を行う。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)
光や影、影の色が鮮明に写るおりに薄暗い環境を設定し凹凸の無い白い布と大きめの光を当てることのできるライトを準備する。

自分の写し出した影をほつりと作る事ができるようにマジックペンと透明なフラックアポを用意。

専門講師による影の色や動きを観察する活動を実施した。

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

CDに光を当て反射により、虫工を工作。様々な色の影が写ることを知り、上では透明なアクリル板を用いて、自分の写し出した色を塗り、キャストプログラム体験にかついで光を当て、写りの色を観察する。ピラミッド状にしたかついで、ポーションをして崩し、光の影の動きを観察しながら楽しむ。キャストプログラムあがてでは、影の動きを利用して影絵をして楽しむ。

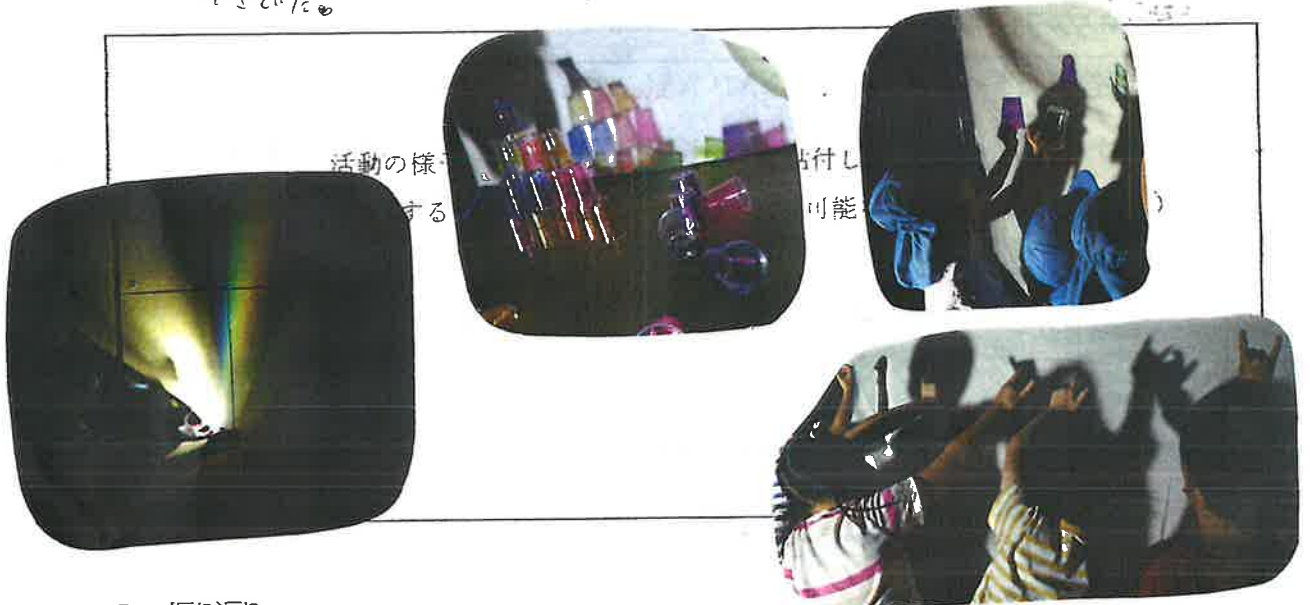
<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

<児> 色の影が写ることを知り、上では製作をすることで自分の写し出した色を塗り、透明なアクリル板を用いて、実際に写し出した影を見て動かしてみたり下を動かして変えたりしながら色々な角度で楽しんでいた。

<声> 互いに対してできた影を見せると「あ、青いね」と色々な色が多射した様子も互い同士で話していた。影絵をしていく際には影が写るようになって「あ、分かんない」という声が多かった。見やがて「あ、ここに書いて分かんない」とも聞こえてきた。

<児同士の関わり> 影の動きが写ることは影が重なることには気が付いたため「光が当たって写ると影が重なるからね」と声を出して「あ、ここに書いて分かんない」とも聞こえてきた。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

写し出した影の動きにしても興味をもつ姿が見られていた。実際に自分で影を作ると光が当たっている場所と当たっていない場所が分かんないという声も聞く。保育者の声掛けによって気づいた後は、影が当たっている場所を探ることも楽しむ。影の動きをよく観察していること、分かんない影が重なり合うことのできる影絵も、あそびを今後知らせていさながら、より興味をもたせていけるようにしたい。

4歳10月

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

所在	
園名	港区立たかはま保育園

1. 活動のテーマ

<テーマ>

光と影 ・ 光を使った運動遊びと楽しむ
・ 体を使って影を作り表現を楽しむ

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)
興味関心: 前回の活動の中で、自分たちで影を作り表現するのを楽しんでいる姿があった。また、色が
ついた影に興味を持ち、光を当てて楽しむ姿があった。

2. 活動スケジュール

7ヶ月テーマ「自然科学」

10月8日水曜日 専門講師 カラーヒーロハンと光を使い、色のついた光を作り出し、
を招致し 光を動かして、光を追いかけて遊ぶ楽しさを体験した。

10月27日月曜日 専門講師 前日のおんがくで、動物の絵とヒーロの音に合わせて
を招致し 動かして、影を作って楽しむための、10月は自分で決
めた動物の影と体を使って表現する活動
を行った。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)
環境: 遊戯室にてロールカーテンを閉め、暗い環境を作り、黒布を使用し、カラーヒーロハンと懐中電灯
を使い、色のついた影を作らせた。
準備物: 懐中電灯、カラーヒーロハン、黒布

専門講師におんがく、光を動かして影を作る活動を実施した。

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

<あんがく> 自分たちで動物の影を作り、シルエットダンスを行った。1人1人表現したい動物を決め、ゲスト講師に伝え、子どもたちの動きに合わせてBGMの音をつけた。表現している影を見て、何の動物か当てて、楽しむ姿が見られた。

<たいそう> 色ついた光が重なるのに合わせて、子どもたちが果し踏みのようにして光を追い回り、体を動かして楽しむ姿が見られた。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

<等> あんがくの活動では、自分で好きな動物を考え表現の仕方も考えたことで、友だちの表現にも興味と持った。自分自身も表現することでも楽しむ姿が見られた。たいそうでは、色ついた光の中に光を見つ追いかけて、体を動かして楽しむ姿があった。

<子どもの声、保育者との関わり> 動物の影絵作りでは、友だちの表現する動物を見て考え発表する姿があった。また、「ともだちといっしょにダンスをつくりたい」という子どもの声もあった。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

あんがくでは、自分で動物の表現ができた。自分のやりたいことと講師に伝えることができたり、自分で影を作ることに対する意欲が見られたことも良かった。1人1人影を作ったが、子どもたちから「もっとやってみてほしい」といってほしいと声もあがり、友だちとの関わりが持てる活動も耳に入ってきてほしいと思った。

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

所在	
園名	港区立たかひすい保育園

1. 活動のテーマ

<テーマ>

光と影、こぼれだるの？ ・体を作ってなだるこ動かしながら
 光と影の影を作り表現を楽しむ。

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)
 前回は一人で影を作った表現活動を行なったため表現をなだるこ共有すること
 楽しむ姿があった。今回はなだるこ動かして光と影の影をなだるこ共有に繋がる活動
 とした。

2. 活動スケジュール

11月10日(水) 専門講師を招致して
 1人になって動物の影をこぼれだるこ表現する話し合いの動きを
 決めていった。決まった表現を音楽講師に伝え、その動きに合わせた
 ピアノの音をつけてもらうことで影の音イメージを合わせながら影の
 クイズを楽しむ。

11月12日(木) 専門講師を招致して
 2人で光と影を作ることになり、1人で動かしながら
 影の形や役割分担を考えた。動物の特徴をこぼれだるこ2人で表現
 話ししながら影を映し出し、その影を見て当てる影のクイズを行った。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したが、準備した素材や道具)
 環境:遊戯室にて暗い環境と充分に表現できる広い空間を作り影絵用布を使用して影を
 見せられた。
 準備物:環中電灯、影絵用布、ピアノ。

専門講師による、影を作った表現を楽しむ活動を実施した。

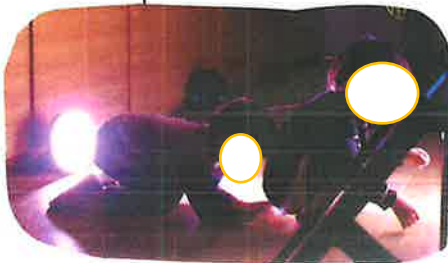
4. 探究活動の実践

<活動の内容>

光と影の見え方を確認した後、シアターで影絵当てクイズに取り組む。
 シアターで着た動物や形を表現するために体を使って影を作り、何の動物に
 なっているかを当てるゲーム形式でやった。
 おんがでは、講師に自分たちの影の動きを伝え、シアターでその動きを表現してもら
 うことで、影の変化と音の印象の違いも感じながら楽しんでいった。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)
 (声) シアターでの活動で、最初は2人で同じポーズをとり、影を動かして同じ動物
 を表現しようとすることが多かった。しかし、おんがで「きつぎ」を表現し、1人が木になりもう1人が
 木をつつく動きを見てたことで、他の子どもたちも「2人でひとつを作る、という新しい表現方法に
 気づき次第に真似をしながら表現の幅が広がっていった。
 (声) 影絵を見て「くわがたな」「なにこる」など、声の色んな動きや声が出てきた。
 (おんが) きつぎを表現したシアターの場に対して、「きつぎが見えたか。1人が木になっていんだね、2人で合
 った影を作っているね」と具体的に言葉を掛けることで、他の子どもも「2人でひとつを作る、という視点に
 気づき自然と表現を工夫する等に繋がった。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

自分が想像して作った影と他児から見た影との違いにまだ気づき苦しいこ
 が多い。しかし、互に影の表現を見ることで、動きの伝わり方や2人で合わせた
 ときの表現の広がりなどに気づき、自分の表現の仕方を直してより動きを工夫してみたり
 おんががあった。今後も影の変化を見たり、話し合ったりすることで、より豊かな
 活動を取り入れ、光と影の興味がより深まるようにしていきたい。

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

所在	
園名	港区立たかはま保育園

1. 活動のテーマ

<テーマ>

光と影
 ・ 光の動きに合わせて体を動かすことと楽しむ
 ・ 音楽に合わせて楽器と演奏し、影にうしろから表現することを楽しむ

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)
 興味関心: 前回の活動の中で、光の動きに合わせて体を動かす楽しさを体験していたため、今回も前回は違うルールを取り入れて活動を行った。

2. 活動スケジュール

7月テーマ「自然科学」
 12月1日 月曜日 専門講師を招致し、チームに分かれ、山の音楽家の曲に合わせて楽器を持ち、影を作って表現することを楽しんだ。
 12月17日 水曜日 専門講師を招致し、ロープやラバーリングを使用し、体を動かしながら光のあたった部分をふまないようにしたり、止まったりして体を動かして楽しむ。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)
 環境: たいさくでは、遊戯室の床にロープとラバーリングを置いて、子どもたちが自由に体を動かすようにした。おもちゃは、チームごとに好きな楽器を選ばせ、自由に使える楽器を用意した。
 準備物: 懐中電灯、影を作る用布、ライト、ロープ、ラバーリング、マウス、ウッドブロック、カスタネット。
 専門講師による、影を使った音楽表現や身体表現を楽しむ活動を実施した。

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

<あみぐ> チームに分かれ、「山の音楽家」の曲に合わせて、何の動物になりきり、何の楽器を使い表現するのんを決めた。選んだ動物のイメージに合わせて影を作り、楽器を使って表現することを楽しんだ。

<たいせう> スポットライトや環中電灯の動きに合わせて、光があたる箇所を通ったり、あたらないうちに体を動かす活動を行った。光の動きを見て動きを止めたり、しゃべったりして楽しんでいた。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

<姿> あみぐでは、友だちと話し合っで必要な道具を決めて、自分たちで表現の仕方を考え、こまができていた。楽器を持って影を作った時に、自分の影と重なると楽器の影が見えていたことに気付く。自分の影と重ならないように持ち方を変えた。

たいせうでは、ロープを渡った後、ラバーランプを履き足している時に光があたる箇所を通らないようにしたり、音を生かして光があたると止まるようにして楽しんだ。光があたる箇所を見つると、「見つめようぞ」として、「あみぐ」と言っているからあたらないうちに体を動かすことを見ていた。

<声・声・保育者との関わり> 光に合わせて動く活動で、光が自分たちの高さに来ると「どうして高いのよ」「どうして低いのよ」と困った様子があった。「光にあたらないうちに動いていない所を探しておはら?」と声かけして、体を動かして楽しんでいた。



影が分かる写真 2枚
可能性があります



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

自分たちで表現の仕方を考えた。光にあたらないうちに自分を考え、体を動かして遊ぶことで、積極的に活動に参加をし、楽しむことができる姿があった。特に運動あそびの時には、「もっとやりたい」「次は光にあたらないうちにしたい」と、もっと遊ぶたいという声があり、普段の遊びの中にも光を使用し活用できないか考えたいと思った。

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

所在	
園名	

1. 活動のテーマ

<テーマ>

光と影の表現会

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)
光と影、音に親しみ、表現することへの興味を深めてきた経験と手とめ歌「山の音楽家」に合わせて音と影の両方で表現する活動を行うことにした。

2. 活動スケジュール

12月23日(火) 製作	光と影の活動として3グループに分かれ氷の結晶をイメージしたデジタルのキャンディーを製作し、保育室の窓に飾った。
1月19日(水) 専門講師を 招致する	ロールカーテンを閉めて下書きの白い壁面を作り、電灯で影を映し出した。5グループに分かれて使用する楽器(アスタネット・金鈴、ウッドブロック・タンバリン・マラカス)と表現したお飾物を決め、その位置を自分で選りながら歌に合わせて楽器、影で表現する活動をしていく。
2月4日(水) 専門講師を 招致する。	滑走路の環境を設定し、紐の上を歩いたり、お飾物を取り入れたカーペットを回すなどの途中の影絵の場面ではお飾物に巧みさや表現していきながら「お飾物がこぼれた」などの合図で音が当たった時に動かすのを止めることで光と影を体で感じさせるようにした。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)
ロールカーテンを全て閉め、白い壁面を作り、下書きの白い壁面を作り、電灯で影を自由に映し出せる環境を設定した。

専門講師による影を使った音楽表現や身体表現を楽しく活動で実施した。

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

(見かけ)

歌(は音楽家)に合わせて楽器の音と自分の声を使い、動物を表現する活動を行った。中心となるのは、使用する楽器と表現したい動物をグループで話し、例えば、電卓や灯の前におく位置を自分で探しながら影の下まきや動きを上手に表現した。

(中身)

親身で歩いたり、ジャンプを取り入れたカーペットを指定した時、環境の中で音を立てないように遊ぶ活動を行った。『お母さんがいるよ』の合図で光を当て動かすこと、体を動かしながら光と影を感じながら遊ぶように活動した。途中には影の絵の表面を認め、動物になりきりながら影の動きを楽しめるように取り入れた。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

(姿) 表現したい動物や楽器の影の光をグループごとの「影の光」は、光と音を同時に表現する難しさから、どちらか一方に集中する姿が多く見られた。

(声) 声は大きさを自由に表現できるように環境設定をしたことで「スキッパッ、パッパッ」などの音や、自分の声と影の動きを合わせて表現する声が多く聞かれた。

(関わり) 表現をしているグループには、歌を聴くように促すことで表現に集中できるように促す姿が見られた。また、光を自由に動かすことで影の動きに変化に興味を深めながら試みる姿も見られた。中には、体を動かしながら光の動きを感じ、光に当たらないように楽しむ姿も見られた。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

おんがくでは影の動きを通して表現を楽しみ、たいていでは光の動きに反応しながら、身体を動かす姿が見られた。影の下まきを通して光と物体の距離を程々にする姿も見られたが、まだ試行錯誤の段階であると感じたため、今後も距離や位置関係を通じて感じられる活動を取り入れ、新たな学びを築くようにサポートしていきたい。

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

所在	
園名	港区立たかはま保育園

1. 活動のテーマ

<テーマ>

光と影：身近な道具を使って影を作り表現することを楽しむ
光と影：知っている遊具に影を取り入れて楽しむ

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)
興味関心：身近にある物を自分の影と組み合わせる影の形を変えたり、自分が動くことで変化する影の様子に興味を持ち、たりや子葉があった。

2. 活動スケジュール

7月テーマ「自然科学」

3月11日水曜日 専門講師を招致する。普通の体操教室で使用しているカーンコーンセボール等を使用し、組み合わせる影を作り楽しんだ。

3月16日月曜日 専門講師を招致する。「かきめかきめ」に合わせて影を作り、シルエットクイズを楽しんだ。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)

環境：室内を暗くし、影絵用布とライトを用意する。

準備物：影絵用布、ライト、カーンコーン、カーンボール、カーンボード、ポスターボード、スクリーン

専門講師による影絵を組み合わせる表現したりシルエットを見て実物を想像する活動を実施した。

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

〈おんがく〉「おんがく」の歌の終りに後ろに居る人が 影の紙を用布に隠れて声を出さずに 解答あるグループに影の形と動かして シェイクアウト を行った。影の特徴を見てあてる事が あった。

〈たいそう〉普段体操教室で使用している 道具と自分の影と組み合わせさせて 動物を表現したり、ロボットになりきり、ダンスして楽しむ姿があった。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

〈学〉おんがくでは、矢張り遊ばに影を取り入れたことで、新しいルールに興味・関心を持ち、積極的に参加する姿があった。解答者側も影を良く見て、予想と話しながら考えている姿があった。

〈たいそう〉は、道具と頭に乗せたソファーと月夜につけて、自分の影の形を変えて動物等を表現し、影が何を表現しているのかを友達に伝えている姿と、得意そうにしている姿があった。

〈声〉普段見ている友達の影が影だけに、影の特徴を良く捉え、「髪が長い女の子だね」「正座の形が上手だね」「半裸を着てるね」と影の形が友達と話しながら友達を当てていた。

〈保育者との関わり〉たいそうの際に、道具を使用する時に困っている子どもに、子どもの表現したいものを聞き、一緒に影の形を考えて、体の表現を何と使用するか決め、楽しく表現できるようにした。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

子どもの普段行っている遊ばに影を取り入れたが、子どもたちも影で表現することに慣れていたので、すぐにルールと理解し、楽しく遊ぶことができていた。

今回のように、普段の遊ばの中にも影を使ったルールを取り入れることで、今後も「光と影」を表現し、子どもたちの学びに繋がる活動ができるのではないかと感じた。

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

所在	
園名	港区立たかはま 保育園

1. 活動のテーマ

<テーマ>

光と影 身近な光と影を見つける。

<テーマの設定理由>

【理由】テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など、影を利用した運動遊びや天気の変化など、日々の保育の中でも光や影について興味を持つ姿が見られる。「光と影」をテーマとして活動することで子どもたちがより意欲的に楽しめるようにしたいと考えた。

【特色】園が広く、園庭もある。

2. 活動スケジュール

6/16(水) 0月回専門講師到来し、様々な光と影を発見する。

○振り返り

・光や影について、子どもたち一人ひとりが気付いたこと、感じたことをグループで話し合い、発表する場を設ける。

6/18(金) 0月回専門講師到来し、遊戯室で光と影を探す。

・前回、園庭で見つけた光と影と今回を比べて、どのような違いがあるか、考えてみる。

○振り返り

・どのような影があったか、前回との違いはあったかなど、意見の共有。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)

環境: 光と影探しにおいて、自然物や道具など、様々な素材を利用して興味関心を高められるようにした。専門講師による光と影探しの活動環境。

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

6/16(水) 園庭で身近な光と影を見つける。
一人ひとりが園庭を自由に散歩しながら、自然物や玩具など、様々な素材や道具から影を見つける。その後、振り返りを行い、光と影に関する気付きや発見など、グループ毎で発表した。
6/18(金) 遊戯室で光と影を探す。前回同様、光と影を見つける中で、屋外との違い、なぜ影がでるのかなど考える場も設ける。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)
内容 園庭や遊戯室で自分の身近にある光や影を探した。屋外と室内の光や影の違い、一人ひとりが発見したことなど、その後の振り返りで共有した。
子どもの姿 人や玩具、自然物など、様々な影を見つけた。自分の影を見ながらポーズをとったり、動きを楽しんだり、木の枝、葉を組み合わせて、影を繋げる姿が見られた。
保育者との関わり 園庭での活動中、影の向きが、全て同じ方向であることに気付く姿が見られ、なぜその向きなのか聞いてみると、「太陽の反対側に影がでる」という発言があった。遊戯室で、屋外の影の違いについて聞くと、「電灯よりも太陽の方が暑いから」「光の強さが違う」といった意見があった。

気付き 振り返りの場を設けると、「自分の場所によって影の大きさが変わる」「影を合わせると混ざっていい」といった様々な気付きがあった。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

今回は園内外で光と影を探すという活動だったが、一人ひとりが活動の中で光と影を使った遊びを考え、友達と楽しくながら、気付きや発見を得ている姿が印象的だった。子どもたちが感じた様々な気付き、疑問などを活動の中に取り入れながら、興味や関心を広げられるようにしていきたい。

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

所在	
園名	港区立たかはし保育園

1. 活動のテーマ

<テーマ>

光と影～光と影、てなんたろう～

<テーマの設定理由>

興味: 先日園庭で光と影を見つける活動中に「影が出る方向が、と同じだ。」という発言が
関心 あり。そして、その事に対して疑問を持つ姿が見られたため光と影の関係性を調べる事にした。

園の特色: 園内幅広く活動を行いやり。

2. 活動スケジュール

7月11日(金) ... ウクウクトレジャーの環で天井のライトの上に青のカラーポ
リ袋をかまにせ海の中をイメージした部屋を作り探索活動
を行う。

7月16日(水) ... 専門講師を招致し、影のうつる色の濃さの違
いかを、6色の色画用紙をつかいて「グ」ループごとで
調べ話し合い、発表する場を設ける。

7月28日(月) ... 専門講師による光と影の関係を調べる活動を実施し、
ライトを使い影がどのように動いているかを調べ、「グ
ループ」ごとで発表する。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

環境: 光と影が分かりやすいよう遊戯室のカーテンをしめ暗い環境を設定し、
専門講師による光と影の関係を調べる活動を実施した。
準備物: ライト、6色画用紙(白、赤、黄、青、黒、緑)

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

「え、そう... 前回室内で影を探した時、影がうつる床の部分の色で影の濃さが変わるのではないかと疑問が出たので6色画用紙(白赤、黄、青黒、緑)を用意し影をうつして実際に確認する。
おんがく... 園庭での影探しては太陽とは反対側に影が出来ている事に気がついたためライトを使って光と影はどのような関係なのかを調べる子ども1人が中心に立ってライトを持って子どもがその中心の子と目を照らさなければ回りと回り影の動きを観察する。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

子どもの声: 6色画用紙の上にするか、影の濃さ見ると黒、青、緑色が影が濃く見えるね、白、黄色がうすく見えるよ、とグループ活動では子ども同士で共有する事が見られた。
おんがく... 手を動かすだけでなく頭や足を動かして影をうつり子どもが思った。影を見て2重にはてる、大きさがかわるね、手を近づけると色が濃くなるよ、など様々な発見と声が出た。また影の動きを見る活動では影を見てライトが動くとき影が動く、という意見と人が動くとき影の方向も変わる、という2つの意見が出た。そしてライトで照らした影を見てライトが近いとき影が小さくなるよ、と新しい気づきも見られた。
関わり: 影の動きを見る活動では、2つの意見が出たため、実際に職員と子どもとで確認してみよう、とするとライトが動くとき影が動く事に気がつき光→物→影の順番に気がつく事が出来た。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

活動を行う前は画用紙の色で影の濃さが変わる事はないと思っていたが実際にやると6グループ中5グループが黒、青、緑色が影が濃く見ると答えていたため、なぜ濃く見えるのかと引き続き調べていきたいと感じた。またグループで活動を行なった事で様々な意見を出し合いながら話し合う事が見られてきた。
影の動きを見る活動では2つの意見が出て子ども同士で何度も話し合う姿が見られて良かった。また実際に確認をした時ライトが動くときに影が出来るとどこに影が出来るとどこか、と考えるから答え光と影の関係性を全体で話し合う理解していく事が出来た。

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

所在	
園名	秀区立たかはま保育園

1. 活動のテーマ

<テーマ>

光と影の自分の影を使って楽しむ。

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)
<興味・関心> 先月、動物の絵を使った影絵をし子どもたちも自分で作った動物を嬉しそうに動かす姿が見られた。今回は自分の影を使い、様々なものを表現して楽しめたらと思った。

2. 活動スケジュール

- 9/10(水) 1回 専門講師を招致し
グループ毎に好きな動物になりきり、他の園児はその影を見て何の動物か当てる。
- 9/29(月) 1回 1回 専門講師を招致し
たいそうのなりきり遊びをピアノの音に合わせて行う。
◦ 手影絵を覚え、次回のすくわくで楽しめるようにする。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)
<環境> 遊戯室のカーテンを閉め、室内を暗くして影を見やすくする 専門講師には準備物を準備した。
<準備物> ライト、大きめの布

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

たいそう… 様々な動物になリキリながら、伸び伸びと体を動かす。見ている園児は、どんな動物か予想しながら一緒に楽しむ。その中で、立ち位置によって影はどうなるか、光の明るさや角度による変化を考えていく。
おんがく… たいそう同様、動物になリキリ、音楽に合わせて自由に動く。様々な動物の手影絵を覚え、次回の活動に繋げていく。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)
<内容> グループ毎に話し合い動物を決め、皆の前でなリキリながら体を動かす事を楽しむ。周りの園児はその動きを見て動物を当てて一緒に楽しむ。
<子どもの姿> 初めはライトや布との距離の影響で影が上手く映らなかつた。見ている園児が「布から少し離れたらどう?」「ライトの場所を変えてみる?」など、様々な意見を出す姿が見られた。色々な方法を試し、布に近づくことで影がよ見えようになると気付いた。
<保育者との関わり> 四足歩行の動物になリキリする際、どれも動きが同じに振る舞おうという事になる。どのようにすれば見分けが付くか問いかけると、歩き方以外にポーズをとったり、走り方を工夫して表現したりと、様々な工夫が見られた。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

今回は、動物になリキリして体を自由に動かしながら影を利用して楽しむ活動を行った。動物になリキリしている園児の影が上手く見えなかつたとき、ライトの角度や立ち位置など、子どもたちが意見を出しながら、色々な方法を試している姿があり、前回までの活動で得た知識が活かされている事を感じた。
活動の中で子どもたち一人ひとりが自分たちの疑問を持つことで深い関心や意欲に繋がるため、そのためにどのような活動内容や工夫を行っていくかよく考える必要があると感じた。

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

所在	
園名	港区立たかひま保育園

1. 活動のテーマ

<テーマ>

光と影を知る

<テーマの設定理由>

<興味・関心>今までの活動では紙で作った影や自分の影を使って影遊びをしてきた事などのようにあればやりたい形になるのか興味が出てきていた。なので今までやってきた事を生かして影絵のオリジナル物語りを作り楽しめたらと思った。

2. 活動スケジュール

- 10/8(水)・グループ毎にイラストに見立てた影を手だけで表現し他の園児はその影を何のイラストかと当てる。
1回専門講師を招致し
- 10/9(木)・3グループに分かれて影絵のオリジナル物語りを考える。
- 10/16(木)・物語りの影を物や手を使ってどのように表現するかを考える。
物語りにはどのようなBGMがあれば良いかを考える。
1回専門講師を招致し
- 10/20(月)・実際にグループ毎で考えた手影絵をためしてみてもどのようにうつるのかを確認する。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

<環境>遊戯室のカーテンを閉め室内を暗くして影を見やすくする。
専門講師には影絵を実施した。

<準備物>影絵の絵本、ライト、大きい白い布、手影絵をする時身体をかきせるための机

12月 5日

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

所在	
園名	

1. 活動のテーマ

<テーマ>

光と影のついでにどう～ 物語を作り演じしてみる～

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)

活動や絵本を通して、影が身近に感じられるよう、戸外活動や空き時間に手や足を(使)い影絵を(作)り、母が(あ)った(あ)る物語を(作)ること(に)した(こ)。

2. 活動スケジュール

- 11/10(月) ^{専門講師を招致し} 前回は引き続き、影絵でのグループ活動を行う。
他グループの反響や発言に合わせて、やり方を変えたり、工夫できるように、発表の工夫、練習という形で取り組めるようにした。
- 11/26(水) ^{専門講師を招致し} 身近な道具を使用して影絵の製作を行う。
秋のお楽しみ会で行った影絵の製作でグループごとに内容を考えたりする。保育園にある物を用いて見せる方向を考えた後から製作を行うようにした。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)

- ・物語を作るにあたり、グループごとにどのような物語を作るか、話し合う時間を設けた。
- ・影絵の製作 (可動の製作は面白いか、グループで考える。玩具だけでなく、保育者が使用する物も含め考えられるように、声かけをして(不織布、楽器など)
- ・専門講師による物語作りを体験した。

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

所在	
園名	港区年にかは保育園

1. 活動のテーマ

<テーマ>

光と影で楽しむ

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)
以前、保育園の行事で、親子で影絵の劇を観る機会があり、それがきっかけで影絵に対する興味や関心が深まっている。

2. 活動スケジュール

12月5日(月) ... 1日1回専門講師を招いて
グループ毎に生き物の手影絵を行い、クイズを出す。
(おなか)・音楽に合わせて手影絵を行い表現を楽しむ。
12月7日(水) ... 専門講師による
ライトを使い、だるまさんがころんだを行う活動を実施した。
(たいそう)・障害物や縄渡りを設け、光が当たった時には止まりながら先に進むゲームを行う。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)
環境・光が映えるよう、室内のカーテンを閉め、暗い環境を設定した。また、運動の際は縄、ハンカチも利用し、体を動かす楽しさを体験できるようにした。専門講師による光環境のイスタ互射遊びを実施した。
準備物... 布、ライト、縄、ハンカチ、サークル

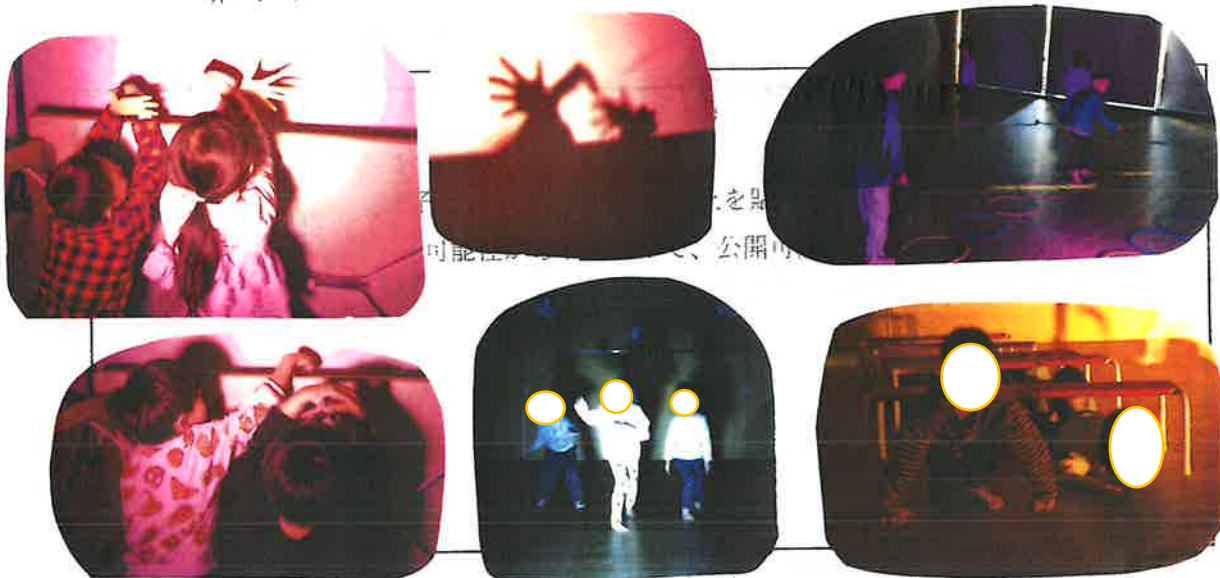
4. 探究活動の実践

<活動の内容>

12/15(月) ...これまで取り組んできたシエートクイズ、親子行事で観た、影絵の劇を通して、手影絵への興味が高まっていった為、手影絵を使ったクイズを行った。グループ毎、その日生き物に挑戦するか話し合い、音楽に合わせて、影を動かす事を楽しんだ。
 12/17(水) ...光を利用した運動遊びを行う。ライトに頼らずにたう止まるルールでたむまさんが転んだに取組む。その後は、パンチャ縄ほども使って障害物を設け、様々な動きを楽しんだ。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)
 <子どもの姿> 手影絵をした際は、グループの友だち同士で話し合いを行い、役割分担して、それぞれ違う動作をしてみた。影を組み合わせて一つのものを表現したと、様々な工夫が見られた。また、周りの友だちも影を見ながら、「もう少し上になると見やすい」「ライトから近づくのもいいねい」など、自分たちの考えを伝えながら、一緒に参加する姿が見られた。
 <関わり> たいせうでの活動中、光が自分に当たると、影が光の向きに右へ伸びている事に気付く。光の場所を変えたらどうなるか試す事にし、光の位置によって影の向きや、長さが変わる事に気付く姿が見られた。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

・手影絵に取り組んだ際には、一人ひとりが自分の意見を伝えながら話し合いに参加していた事から、影絵に対する興味・関心の強さを感じた。グループ毎に、役割を変えた影を合わせたりと、様々な工夫が見られた。今後、子どもたちの関心が高まるよう、様々な影絵を知る、劇遊びを取り入れたなどの機会を設けたい。
 ・たいせうでの活動中、ライトが当たると影が伸びる事に子どもが気付いた際には、保育者としては、当たり前と感じている事も、子どもたちの視点では、全て疑問に繋がっている事を再認識した。
 今回の事を踏まえ、子どもたち一人ひとりの言葉に丁寧に耳を傾けらるよう意識したいと感じた。

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

所在	
園名	港区立たかはま保育園

1. 活動のテーマ

<テーマ>

光と影の発表会

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)
 今までの光と影の活動で影絵に字子して興味・関心が高く強い姿が見られた。このテーマが
 絵本などの物語りに対して親しみを持っていて、オリジナルの物語りを影絵で表現する事にした。

2. 活動スケジュール

1月19日(月) ... ^{A1回 専門講師を招致し} 3グループに分かれて作っているオリジナル物語りに出てくる物
 (おんがく) や、生き物を実際に手影絵で表現する。

1月20日(火) ... グループに分かれて物語り作りを行う。台本を書いたり、
 1月29日(木) 役を決めたり、物語りに使う小物を作った。

2月4日(水) ... ^{A1回 専門講師を招致し} オリジナル物語りの発表会を行う。発表後は意見や感
 想を伝え合う。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)
 環境:カーテンを閉め室内を暗くし、影がきれいに出るよう(= ^{専門講師には影絵の} 製作)と実施した。
 準備物: ライト、机、白い布、厚紙

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

音楽…物語りを作っていく中でストーリーに合わせて音楽を考えていった。また、物語りに出てくる物体や生き物を実際に影で表現してみる。

クラス…オリジナル物語りをグループに分かれて考えた。手影絵で表現出来るものは物以外の物で表せるか？と考え材料を使って作る。

体験…実際に影絵の発表会を行なう。鑑賞後はグループごとに感想や、お互いの意見を伝え合う。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

子供の姿：物語りに合う音楽を決める時はグループごとにどのような音が良いかを話し合う姿が見られた。影絵で表現出来る物はどうするかを話し合い、厚紙を使って作る姿が見られた。より良くなるよう何度も作りなおし納得いく作品をつくっていた。

声：影絵の発表会では盛りを乗せながら演技をして、鑑賞する姿が見られた。発表会後は感想はどうだったのか？「あのシーンはどう作っていたのか？」等の影絵が上手だな、などの感想や質問が出ていた。また、演じる方はたとえその難しさを乗り越え、厚紙でつくった花やうさぎの難しさを、などの意見が出ていた。

保育者との関わり：物語り作りでは子どもの意見を尊重し、グループで話し合い、進めるよう援助を行なった。また、発表会後には、影絵に書いて関心があがるため、次の発表会も約束し、次回から引き続き取り組むようにした。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

5歳児クラスのテーマが「絵本」であり日々、様々な物語りに親しみをもて、初めての子どま主体でのオリジナル物語り作りだ。このグループ活動では様々な意見が出てきて話し合いを進める姿が見られた。日々の保育をつなげる事が出来て良かった。初めは光と影に対して興味は少なかったが、この活動で疑問や「やってみよう」と実際に活動を行なった事で興味・関心を引きたる事が出来、最後は発表会を行う事が出来たので良かった。

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

所在	
園名	港区立ばかりほほ保育園

1. 活動のテーマ

<テーマ>

光と影の発表会～

<テーマの設定理由>

前回光と影の発表会を行なった時子ども同士で様々な工夫点を見つける事が見られた。子ども達の中からもう一度見てもらった人の意見を取り入れて発表会を行なったという声が多かったため設定した。

2. 活動スケジュール

- 3月11日(水) 午前… グループごとに集まり、オリジナル物語の内容、役割を確認する。
- 3月11日(水) 午後… 専門講師を招致し、3グループに分かれて光と影の発表会を行う。
- 3月16日(月) … 専門講師を招致し、物語に合わせて音楽を考えピアノで演奏してもらったから発表を行なった。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

環境: 遊戯室のカーテンを締め暗い環境にした。また舞台幕を使い発表会の雰囲気を作れるようにした。専門講師には物語作りの話を実施した。

準備物: 折り紙、白い布、マイク、ピアノ、ポスター、プロジェクター、折り紙、折り紙式ステージ

